

(6) 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率

分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載され、入院中の2回目以降の手術が下記のいずれかを含む場合の患者数。

1. 大腿骨頭回転骨切り術、2. 大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術、3. 人工骨頭挿入術のいずれかが施行された患者数

分母：手術が施行された退院患者の術後在院日数の総計（術後在院患者延べ数）。ただし、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以下の記載がある患者は除外

・けいれん、失神、脳卒中、昏睡、心停止、中毒、外傷、せん妄その他の精神科疾患、低酸素性脳症、リンパ腫、骨腫瘍、自傷行為による怪我

収集期間：平成23年7月～平成23年12月

術後に、院内で転倒や転落によって骨折などが発生した場合、患者さんの療養生活の質は大きく低下し、また在院日数の延長や追加的な治療の結果、医療費も増大するなど種々の弊害が生じます。

手術を受けたこと自体が転倒・転落のリスクになりますが、加えて手術を受けた患者さんは痛みや不眠などの症状を和らげるために薬剤を投与されることがあり、さらにそのリスクが増大します。

病院では患者さんの転倒・転落事故を防ぐために、そのリスクを個別に評価し、その予防対策に努めていますが、その危険性を完全になくすことはできません。ただし、転倒・転落を起こしても骨折に至らないようにするために、その衝撃を吸収するヒッププロテクターや床材の採用など、各施設は種々の努力を行っています。

指標 8 : 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	25653	0	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	23573	0	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	35713	0	0.0%
100110144	済生会前橋病院	16898	0	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	22740	0	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	11725	0	0.0%
120210971	済生会習志野病院	19656	0	0.0%
130314757	済生会中央病院	24925	0	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	29396	0	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	24131	0	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	23514	0	0.0%
160115667	済生会富山病院	8392	0	0.0%
160212605	済生会高岡病院	10999	0	0.0%
170117068	済生会金沢病院	7517	0	0.0%
180118909	福井県済生会病院	27866	0	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	23284	0	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	18114	0	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	17748	0	0.0%
269700129	済生会京都府病院	9156	0	0.0%
271607149	済生会千里病院	20524	0	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	8455	0	0.0%
274205628	済生会茨木病院	8733	0	0.0%
274900723	済生会富田林病院	10553	0	0.0%
279600070	済生会中津病院	30358	0	0.0%
279600120	済生会野江病院	23347	0	0.0%
279600153	済生会吹田病院	23382	0	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	7472	0	0.0%
290102017	済生会奈良病院	5053	0	0.0%
290401062	済生会中和病院	10486	0	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	32002	0	0.0%
343111190	済生会広島病院	6335	0	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	24767	0	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	17643	0	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	23144	0	0.0%
401719020	済生会二日市病院	12393	0	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	17301	0	0.0%
438211911	済生会熊本病院	28871	0	0.0%
	合計	691819	0	0.0%